

OECD広島創生イノベーションスクール※ 構想概要(draft)

〈〈「OECD地方創生イノベーションスクール2030」※広島クラスター [テーマ:Go Global] 〉〉

広島県教育委員会

※名称調整中

広島県の強みと特徴①

- ✓ 海も山もある
- ✓ 都市も自然もある
- ✓ 工業も商業も農業も漁業もある



▶▶ 広島県は「日本の縮図」

▶▶▶ 広島県が元気になれば，日本全体の元気につながる！



広島県の強みと特徴②

2つの世界文化遺産

(原爆ドーム, 厳島神社)



瀬戸内海の多島美

(約150の島々)



国際的な知名度の高さ

(H25外国人観光客:約84万人)



多数のOnly1/No1企業

(マツダなど)

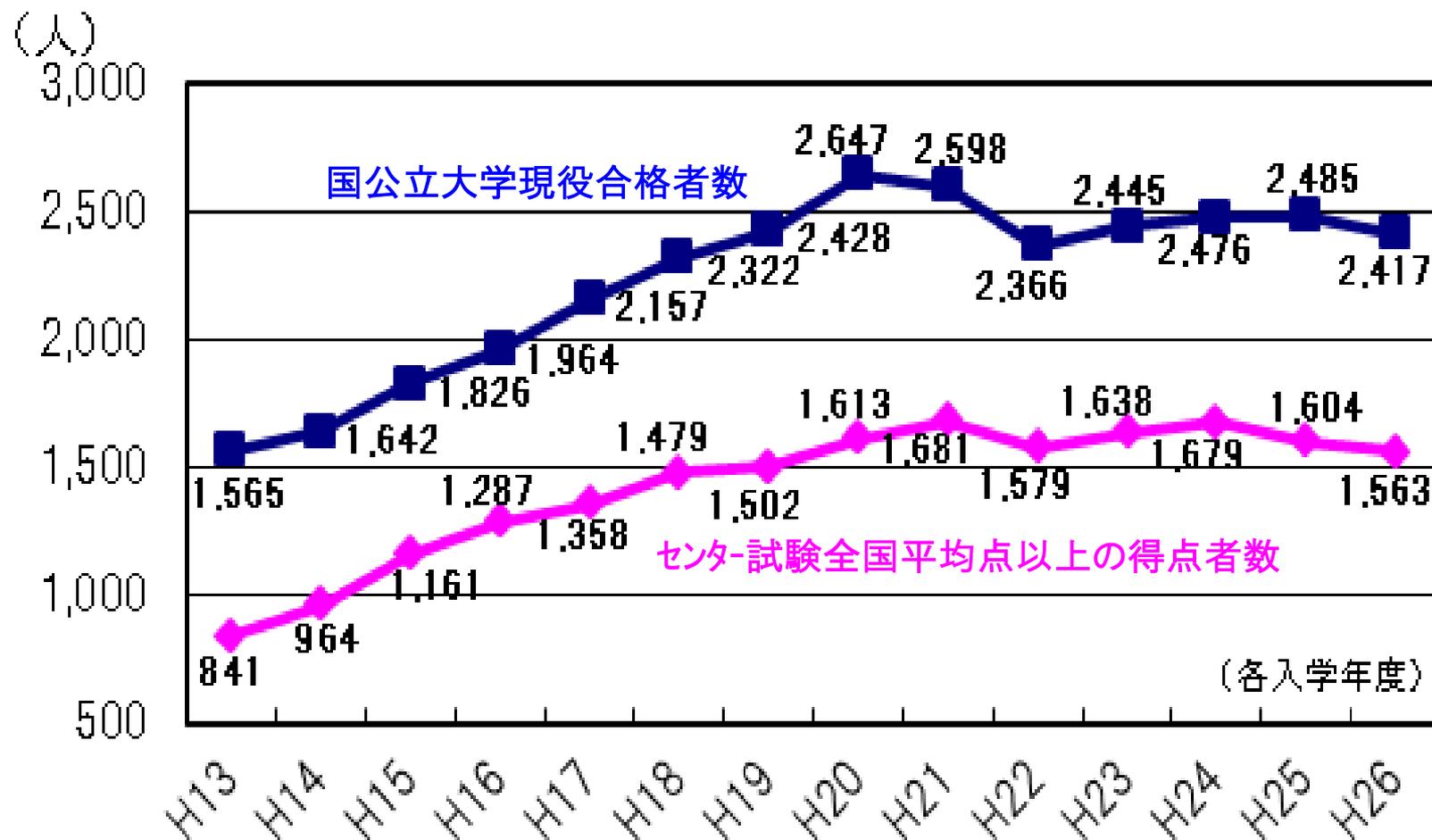


魚も肉も野菜も美味しい！
海水浴もスキーもできる！
プロ野球チームもプロサッカーチームも
プロオーケストラチームもある！

そして、忘れてはならない、原爆からの復興の歴史

広島県教育の状況①

◆ 県立高等学校の国公立大学現役合格者数及び大学入試センター試験の全国平均点以上得点者数



広島県教育の状況②

＜学校教育法に定める、いわゆる「学力の3要素」の状況＞

区分	小学校	中学校	高等学校
要素1 [基礎]	○	○	○
要素2 [活用]	△	△	△
要素3 [意欲]	高	中	低



【要素1・2関係】知識・技能の習得・活用の状況(小・中)

- ▶ A問題(知識に関する問題)・B問題(活用に関する問題)ともに全国平均以上
- ▶ A問題に比べてB問題の平均正答率が低く、知識の活用に課題がある

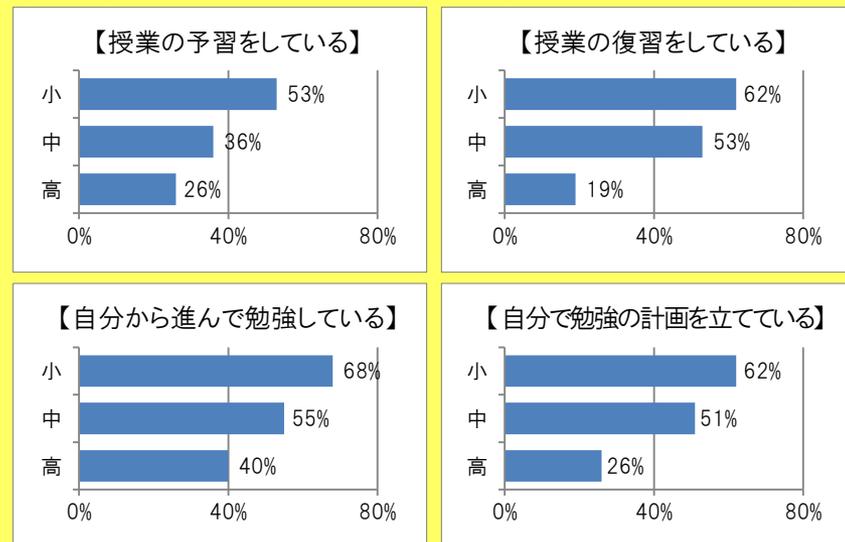
【H26全国学力・学習状況調査の平均正答率】



【要素3関係】学習意欲の状況(小・中・高)

- ▶ 授業の予習・復習の状況や学習に対する主体性を問う調査項目を校種別に比較すると、学年が上がるにつれて学習意欲が低下している

【H25広島県基礎基本定着状況調査(小・中)／H25広島県高等学校共通学力テスト(高)】



※ 生徒質問紙調査において「あてはまる」と回答した児童生徒の割合

**原爆からの復興，
県全体の活性化**

**是正指導を
契機とした教育改革**

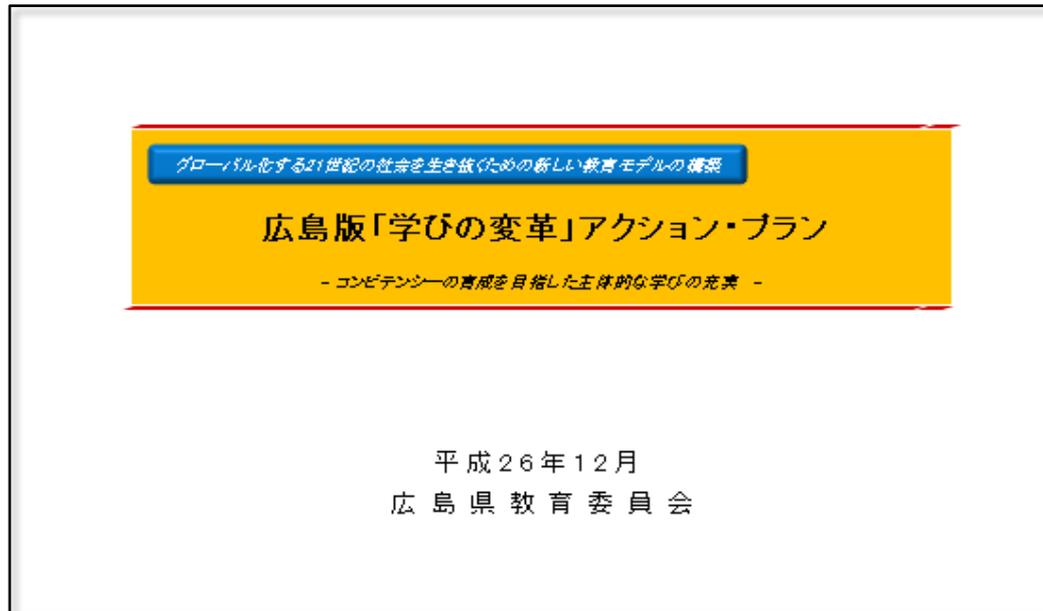
**いずれも、これまで着実に成果を上げてきている一方、
現在、大きな「壁」に直面**

(ex. 人口急減・超高齢化社会における地域の活性化・存続，
社会経済の急速なグローバル化への対応，
「変化の激しい社会」をたくましく生きていくために必要な力(コンピテンシー)の育成 など)

**この打開に向け、昨年12月、
「広島版『学びの変革』アクション・プラン」を策定**

「広島版『学びの変革』アクション・プラン」の策定

平成26年12月19日 「広島版『学びの変革』アクション・プラン」策定



【「広島版『学びの変革』アクション・プラン」とは】

- ◆ グローバル化する21世紀の社会を、子供たちがたくましく生きていくための、新しい教育モデルの構築を目指すもの。
- ◆ これからの新しい教育の方向性として「コンピテンシーの育成を目指した主体的な学び」を掲げ、「課題発見・解決学習」「異文化間協働活動」など、6つの施策を整理。
- ◆ 6つの施策それぞれに、10年後の目指す姿と、今後5年間のアクションプランを整理。

広島県が目指す「学びの変革」(主体的な学び)

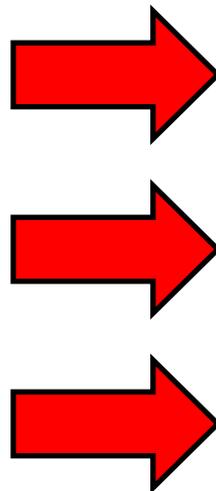
「知識の量」から「知識の構造」へ
— 知識の質が, 知識の量と同じくらい重要 —

主体的な学びとは？

受動的な学び

教師基点の学び

浅い学び



能動的な学び

学習者基点の学び

深い学び

「地方創生イノベーションスクール」の位置付け

【目指すべき2030年の「教育の姿」】

「変化の激しい社会」をたくましく生きていくために必要な「学び続ける力」を、すべての人々が身に付けることができている

★アクション・プランに掲げた「コンピテンシーの育成を目指した主体的な学び」、そしてその手段としての「課題発見・解決学習」「異文化間協働活動」の充実が必要

「OECD広島創生イノベーションスクール」
(「OECD地方創生イノベーションスクール2030」広島クラスター)

★イノベーションの源泉である多様性(Diversity)を拡大するとともに、「異なる他者と協働できる人材」や「ダイバーシティ・マネジメントが可能なリーダー」の育成が必要

【目指すべき2030年の「社会の姿」】

県内全域においてイノベーションが創出され、人口急減やグローバル化への対応などの様々な課題を乗り越えて、県全体が持続的な成長・発展を遂げている

メインテーマ, 育成したい力

◆メインテーマ:

Go Global

育成したい力の例:

異なる他者と
協働する力

他者の話を能動的に聴き, 想像し, 共感する力
自らの考えや意見を正確に伝える力

自己の生き方
を追求する力

深く考え, 計画し, 実行する力
Risk taking & Resilience

「自分事」として
地域・世界に
関与する力

地域や世界の課題を発見する力
新たな価値を創造し, 課題を解決する力
故郷を想い, 行動する力

「違い」に気づき, 尊重し, それを力に変えて,
異なる他者と協働しながら
「違い」を乗り越えられる力

構想アウトライン

参加地域

計3地域 : 広島県 + 2つのパートナー

- ・パートナーは、米国ハワイ州 + 1か国(アジアを中心に検討)

参加生徒

県内高校1・2年生 約50～60名程度

- ・県内全域より公募し、地域の多様性にも配慮して選考
- ・生徒6名～8名程度 + 担当教員1名のグループで応募
(必ず1・2年生双方が参加するグループで応募)
- ・県内全域より、計6校～8校程度が参加(国公立は不問)
- ・平成28年度には、参加生徒自身が新1年生を勧誘し、20名程度を追加

活動内容

**「地域之力」をつなぎ、広島と世界を元気にする
プロジェクト学習に、世界の生徒と協働して取り組む**

- ・2泊3日程度の「全体スクール」を計9回程度開催
(ワークショップ、Web経由のパートナー生徒とのディスカッション等を実施)
- ・併行して、各エリアごとの「エリアスクール」を随時開催
- ・平成28年8月に、ハワイを訪問し、現地生徒との協働活動を実施
(⇒グローバルスクール@ハワイ)
- ・平成29年8月には、3か国の生徒が広島に集まり、協働活動を実施
(⇒グローバルスクール@広島)

活動スケジュール(イメージ)

Phase.1

「地域のカ」(違い)
を知り、伝える

平成27年 [2015]

8月

全体スクール① <<アイスブレイク, WS等>>

12月

全体スクール②

「地域のカ」プレゼン(Web経由)



平成28年 [2016]

3月

全体スクール③ <<ハワイでの活動内容検討①>>

7月

全体スクール④ <<ハワイでの活動内容検討②>>

8月

グローバルスクール@ハワイ

9月

全体スクール⑤ <<ハワイでの活動振り返り>>

12月

全体スクール⑥ <<広島での活動内容検討①>>



平成29年 [2017]

3月

全体スクール⑦ <<広島での活動内容検討②>>

7月

全体スクール⑧ <<広島での活動内容検討③>>

8月

グローバルスクール@広島
国際会議(最終報告会)@日本(場所未定)

9月

全体スクール⑨ <<これまでの活動のまとめ, 振り返り>>

※ 具体の活動内容については、生徒リーダーチーム(各学校のリーダー生徒で構成)が主体的に検討

運営体制(イメージ)

全体スクール

パートナー生徒
(ハワイ)

パートナー生徒
(調整中)

エリアスクール(西部)

エリアスクール(東部)

エリアスクール(北部)

A高校	B高校	C高校
生徒	生徒	生徒
⋮	⋮	⋮
教員	教員	教員

D高校	E高校	F高校
生徒	生徒	生徒
生徒リーダーチーム		
教員	教員	教員

G高校	H高校
生徒	生徒
⋮	⋮
教員	教員

全体スクール講師
(各界第一人者)

実行アドバイザー
(産業界・NPO等の若手・中堅)

実務補助教員
※全県から公募

ボランティアスタッフ
(大学生等)

主催・運営: 広島県教育委員会・広島県立教育センター

サポート

OECDイノベーション教育ネットワーク
※名称調整中

運営アドバイザー
(学識経験者, 産業界等)



ご清聴，ありがとうございました。

広島クラスターの取組に，ぜひご期待ください。

本件に関するご連絡・お問い合わせは，

広島県教育委員会事務局・学びの変革推進課(kyohenkaku@pref.hiroshima.lg.jp)まで

お願いいたします。

